

## 伊藤唯眞猯下

浄土門主・浄土宗平和協会総裁



### 玉稿

平和への貢献を理念に、結成以来多方面の活動を積極的に推進し、宗内でも異色の存在として注目されてきた浄土宗平和協会の歩みが、戦

後75年の節目に当る本年、ここに創設30周年を迎えられることになりました。

折しも廣瀬卓爾理事長は会活動について新指針を掲げられています。浄土宗内の戦時資料に拠って、戦争に対する責任を検証し、一定の総括を行ない、平和に向けての課題を構築したいとの提起をなされています。

理事長のこの提言は、2008年の「浄土宗平和アピール」にのべる、〈浄土宗が国策に従い如何なる言動を行ってきたか、歴史的検証を行なうことこそ、世界平和の実現にあらためて必要なことを確信します〉という趣旨に呼応しています。至當な提議であり、既に専門委員会が発足され、その積極的な姿勢に全くうれしく存じます。戦前の旧制、戦後の新制の教育を受けた身なればこそ、私自身の課題として将来を見据えて行動せねばならぬと深く考え、専門委員会のご検証に期待する所が大であります。

対象とする「戦時」がアジア太平洋戦争に限定されることは当然であります。近現代浄土宗の歩みを「浄土宗の軍事局面对応」という枠組の中で観ますと、日清、日露戦争の時期も見落すことはできません。当初から軍資金献納、軍隊慰問、従軍布教、時局伝道、海外布教など後々まで見られる活躍が認められ、特にシベリア出兵直後から要請された五条（皇上奉戴、人倫尊重、国法恪守、仏教

遵奉、浄土深信）の基本理念は後のちまで貫かれていました。

また軍人布教の具体相を伝える最古の資料は、日清戦争の開戦直後に浄土宗臨時賑恤部から出された、浄土宗管長日野靈瑞師の『報恩教話』です。先ず四恩・三宝恩を説き、「詔勅の聖旨」を奉じ、「皇恩」に報い、軍場では死生の道理を心得、念仏に安心決定せよと論ず。「尽忠報国」「兵馬奉公」の功労を謝し、三帰三竟を唱えしめています。

満州事変勃発、国際連盟離脱後は国の教団に対する指導が厳しくなり、自宗への教導と国家時局に対する誘導との相克が進むなか、国家総動員法成立後は精神報国が叫ばれ、弥陀の悲願は天皇仁慈の精神に相応するとの言説も現れてきます。時局の推移とともに「戦時浄土教学」と称すべきものが現出しました。この指摘は浄土宗総合研究所・時局伝道教化資料班によってすでになされています。

上記のような例がもし事の理解に役立つとすれば、時代を15年間のみに限定することなく、「戦時対応」の背景を帝国主義発端の明治期まで遡っておくべきだと考えられますし、軍人への布教資料などでもできるだけ収集しておかねばと思考します。と同時に、終戦後時間を置かない頃、宗派を超えて行われた悔悟に基づく反戦・友好の諸運動をも録しておくことを痛感しています。

マハトマ・ガンディーは国家総動員法が公布された年（1938）の暮、日本人に「仏陀が説いた不殺生、非暴力の花がしおれかけている」と戒めてくれました（『ガンディー魂の言葉』浅井幹雄）のに、われらは破局を迎えたのです。浄土宗平和協会におかれては検証・総括をなしとげ、ガンディーの言葉を借りれば「それを精一杯、満開に咲かせ」て下さることを願っています。その一角で老生も頑張っております。

# 不戦、非暴力を誓いて

年次レポート

浄土宗平和協会

事業報告

令和元年度

浄土宗平和協会（JPA）では、浄土宗劈頭宣言にある「患者の自覚」に立ち、「世界と共生する」ために、平和の問題に取り組み、皆さまから寄せられる浄財・平和念仏募金によりNGO・NPO支援、ブックギフト活動、浄土宗平和賞、平和作文コンクールなどの事業を行っております。

ここでは、令和元年度の事業を報告するとともに、運営状況などを報告いたします。

ブック・ギフトは令和元年度も東京、関西、名古屋で実施

ブックギフト活動は、浄土宗平和協会（JPA）の主要な活動の一つで、東京都、愛知県、関西圏の大学・大学院に通学する私費留学生を対象にした事業です。与えられた小論文課題を日本語で提出し、審査を経て合格した学生は、希望する図書を授与されるというものです。

令和元年度のブックギフト授与式は、例年通り、東京（大本山増上寺）、名古屋（建中寺）、京都（大本山百萬遍知恩寺）の3ヵ所で行われ、合計28人の留学生が希望図書を受け取りました。

第12回 浄土宗平和賞は「FICO（フィコ）」が受賞

浄土宗平和賞は、浄土宗寺院・教師、または浄土宗教師が代表を務める団体が行う平和・環境保護・国際交流・地域福祉などへの貢献活動を顕彰し、支援することを目的としている事業です。

第12回の浄土宗平和賞は、本多岳明師（岐阜教区如来寺住職）が会長を務めるFICO（フィコ・Friends International Clubs' Organization）に授与することを決定しました。

FICO は、1993年に結成された団体で、インド・ダツタイ村中学校建設の訴えから始まり、小学校の修理、中学校の教室建設、電動式井戸、浄水器、貯水タンク設置などを中心に活動、日本とインド両国のよりよい相互理解を育成し、友好関係を深める活動を続けています。

第1回平和作文コンクールを実施

次代を担う高校生の「平和」への想いや考え等々を知り、浄土宗寺院ならびに教師が、若い世代に対し「平和」について働きかけるために今後取り組むべきことを見つけることを目的として、新事業の平和作文コンクールを実施しました。

第1回の令和元年度は、浄土宗宗立・宗門高等学校8校を対象に募集、「平和への想い」をテーマにした作文が51作品寄せられ、総裁賞1名、副総裁賞2名、理事長賞2名、学校賞1校を決定しました。

理事に 本田行敬師 専門委員に 枝木美香氏

令和2年3月25日開催の理事会において、浄土宗宗務役員就任のために理事を退任された名越邦博師の後任に、石見教区浜田組極楽寺住職の本田行敬師を候補とすることを決定しました。また、遷化された茂田眞澄師の後任専門委員には、アユス仏教国際協力ネットワーク事務局長の枝木美香氏を推薦することとしました。

令和2年度の総会にかわる理事会の文書決議において、本田行敬師を理事として選任し、枝木美香氏の専門委員への推薦を承認しました。

令和元年度事業報告

（平成31年4月～令和2年3月）

- 4月 正副理事長会議  
16日（火）14:00～／宗務庁（京都）
- 5月 前年度会計監査会  
7日（火）15:00～／宗務庁（京都）  
令和元年度総会  
14日（火）14:00～／宗務庁（京都）
- 6月 正副理事長会議  
10日（月）14:00～／宗務庁（京都）
- 7月 ブックギフト 応募要項配布  
平和作文コンクール 応募要項配布・募集開始
- 9月 会報ダーナVOL.34 発行  
令和元年度会費請求、会員募集  
ブックギフト 募集開始  
ブックギフト 応募締め切り  
平和作文コンクール 応募締め切り  
正副理事長会議  
30日（月）13:00～／宗務庁（京都）
- 10月 正副理事長会議及びブックギフト審査会  
31日（木）14:00～／宗務庁（京都）
- 11月 平和作文コンクール審査結果通知  
正副理事長会議及び平和作文コンクール審査会  
12日（火）14:00～／宗務庁（京都）  
浄土宗「戦時資料」に関する専門委員会  
26日（火）16:30～／宗務庁（京都）
- 12月 第12回浄土宗平和賞募集  
正副理事長会議  
4日（水）13:30～／宗務庁（京都）  
第12回ブックギフトin TOKYO 希望図書授与式  
8日（日）15:00～／大本山増上寺  
第9回ブックギフトin KANSAI 希望図書授与式  
15日（日）15:00～／大本山百萬遍知恩寺  
第7回ブックギフトin NAGOYA 希望図書授与式  
15日（日）14:00～／建中寺  
第1回理事会  
24日（火）13:30～／宗務庁（京都）
- 2月 浄土宗「戦時資料」に関する専門委員会  
17日（月）13:00～／宗務庁（京都）  
正副理事長会議  
27日（月）13:00～／宗務庁（京都）
- 3月 会報ダーナVOL.35 発行  
平和念仏募金勧募  
第12回浄土宗平和賞募集締め切り  
第12回浄土宗平和賞受賞者決定  
専門委員会  
25日（水）10:30～／宗務庁（京都）  
第2回理事会  
25日（水）13:30～／宗務庁（京都）

平和念仏募金による支援NGO・NPO一覧

団体	プロジェクト名	援助額
① 日本国際ボランティアセンター（JVC）	南スーダン/スーダン国境近くでの紛争により難民になった子どもたちの支援と紛争解決に向けた住民の動きを促進する事業	¥500,000
② 反差別国際運動（IMADR）	ネパール/ダリット女性に対する暴力の削減プロジェクト	¥500,000
③ こども食堂「寺子屋カフェ」	ひとり親支援「シンママ熊本応援団」	¥500,000
計		¥1,500,000

令和元年度予算書

（自：平成31年4月1日 至：令和2年3月31日）

■収入の部

款	項	予算額	決算額
(1)	会費	6,100,000	7,166,000
	①正会員会費	5,500,000	6,580,000
	②賛助会員会費	100,000	36,000
	③過年度会費	500,000	550,000
(2)	寄付金	2,500,000	1,226,805
	①平和念仏募金	2,500,000	1,226,805
(3)	助成金	950,000	950,000
	①浄土宗助成金	950,000	950,000
(4)	雑収入	30,000	23,826
	①雑収入	30,000	23,826
(5)	繰入金	500,000	500,000
	①基金繰入金	500,000	500,000
(6)	繰越金	87,849	87,849
	①前年度繰越金	87,849	87,849
収入合計		10,167,849	9,954,480

■支出の部

款	項	予算額	決算額
(1)	事業費	6,010,000	5,953,124
	①NGO・NPO団体支援金	1,500,000	1,500,000
	②緊急救援資金	0	0
	③ブック・ギフト費	1,000,000	943,852
	④平和賞等関連費	550,000	579,432
	⑤ダーナ発行費	—	—
	⑥啓発・普及費	500,000	128,110
	⑦スタディツアー関連費	10,000	0
	⑧広報費	2,000,000	2,571,730
	⑨支部事業助成費	200,000	200,000
	⑩各種団体連帯費	150,000	30,000
	⑪調査研究費	100,000	0
(2)	会議費	2,060,000	1,071,213
	①総会費	160,000	46,610
	②理事会費	800,000	349,075
	③正副理事長会費	200,000	375,684
	④専門委員会費	500,000	299,844
	⑤事務局会費	400,000	0
(3)	事務費	1,100,000	915,899
	①事務費	1,000,000	863,419
	②旅費	100,000	52,480
(4)	繰出金	0	0
	①基金繰出	0	0
(5)	予備費	997,849	271,520
	①予備費	997,849	271,520
支出合計		10,167,849	8,211,756

平和基金	17,241,254
平和基金	17,241,254

今年度の協会事業は、機関紙「ダーナ」発行、ブックギフト、浄土宗平和賞、平和作文コンクール、NPO・NGO支援等々、従前の事業をいっそう力強く推進してまいります。

ブックギフトは、今年度より宮城、福岡でも開催、留学生の支援をより広範囲に進めていきます。

昨年立ち上げた〈浄土宗「戦時資料」に関する委員会〉は、数年来の課題となっています「戦争責任」に関する史資料の分析をこの分野に精通する専門委員を中心に進め、なるべく早期にまとめられるように進めていきたいと考えています。

## 今年度 浄平協は 創立30周年です

浄土宗平和協会は、前身である浄土宗平和推進協議会が設立された平成2年6月22日から数えて、30年を迎えました。その節目に、本協会のこれまでの地道な歩みと今後の方向性を策定することに資するため、創立30周年記念事業を6月11日企画しておりましたが、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、延期としました。

会員の皆様と共に、喜びの日を迎えられることを願います。

## ブックギフトは 東京、関西、 名古屋に加え、 宮城、福岡でも 実施

ブック・ギフト事業は13回目を数え、当初東京のみで実施していましたが、関西、名古屋と実施箇所が増加、そして今年度よりは、宮城、福岡でも開催すること決まりました。

希望図書の上限金額は昨年通り2万円とし、希望の多い高額な専門書にも十分に対応できます。

授与式は東京は大本山増上寺にて12月5日に、関西は大本山百萬遍知恩寺にて12月13日、名古屋は名古屋市中建中寺にて12月13日、宮城会場は宮城教区愚鈍院にて12月13日、福岡会場は福岡教区善導寺にて12月6日に開催する予定です。

## 高校生を対象に 平和作文 コンクールを 開催します

浄土宗の宗立宗門高等学校生徒を対象に、昨年からはじめました「平和作文コンクール」を今年も実施いたします。

この事業は、高校生の「平和」への意識や態度を啓発することを目的に実施する事業です。同時に、浄土宗教師が、若い世代の「平和」に対する思いや考え方を知り、教化活動の課題を見出す契機になればとの思いを込めての事業でもあります。

## 第13回 浄土宗平和賞の 募集をします

浄土宗平和賞は今年で13回目を数えます。毎年、宗教専門紙などにも大きく取り上げられており、優秀な宗内の人材を顕彰することができることは、たいへん意義深いことだと思います。

本年度も会員様からぜひ多くの推薦をいただき、公益のための活動を行っている浄土宗寺院・教師を顕彰し、支援したいと思えます。なお、受賞者は、来年3月に決定する予定です。

## 今年も 平和念仏募金で NGO・NPOを 支援します

平成10年度から浄土宗全寺院のご理解のもとに実施してまいりました平和念仏募金の呼びかけを今年度もまた12月に行う予定です。平和念仏募金を原資としたNGO・NPO支援は、一事業5回までというきまりを設け、その活動によって、数多くの国内外の困難な状況に置かれている人々を間接的に支援してきました。

今年度はNGO1団体、新たに特定非営利活動法人クロスベイスを加え、NPO2団体を支援します。

## 令和2年度事業計画

(令和2年4月～令和3年3月)

- 5月 正副理事長会議及び平和作文コンクール打ち合わせ会  
25日(水) 14:30～/宗務庁(京都)
- 6月 ブックギフト 応募要項配布  
平和作文コンクール 応募要項配布・募集開始  
ブックギフト実務者会議  
9日(火) 14:00～/宗務庁(京都)  
監査会  
11日(木) 10:30～/宗務庁(京都)  
正副理事長会議  
11日(木) 13:00～/宗務庁(京都)  
専門委員会  
15日(月) 14:00～/宗務庁(京都)  
浄土宗「戦時資料」に関する委員会  
22日(月) 14:00～/宗務庁(京都)
- 7月 会報ダーナVOL.36 発行  
令和2年度会費請求、会員募集  
正副理事長会議  
2日(木) 13:00～/宗務庁(京都)
- 8月 浄土宗「戦時資料」に関する委員会  
25日(火) 14:00～/宗務庁(京都)  
専門委員会  
28日(金) 14:00～/宗務庁(京都)
- 9月 正副理事長会議  
ブックギフト 募集開始  
ブックギフト 応募締め切り  
平和作文コンクール 応募締め切り  
正副理事長会議及びブックギフト審査会
- 10月 第13回浄土宗平和賞募集
- 11月 第1回理事会  
正副理事長会議及び平和作文コンクール審査会  
平和作文コンクール審査結果通知
- 12月 第13回ブックギフト東京会場 希望図書授与式  
5日(土) 14:00～/大本山増上寺  
第1回ブックギフト福岡会場 希望図書授与式  
6日(日) 14:00～/福岡教区善導寺  
第1回ブックギフト宮城会場 希望図書授与式  
13日(日) 14:00～/宮城教区愚鈍院  
第10回ブックギフト京都会場 希望図書授与式  
13日(日) 14:00～/大本山百萬遍知恩寺  
第8回ブックギフト名古屋会場 希望図書授与式  
13日(日) 14:00～/尾張教区建中寺
- 1月 会報ダーナVOL.37 発行  
平和念仏募金勧募
- 2月 正副理事長会議
- 3月 第13回浄土宗平和賞募集締め切り  
第2回理事会

## 平和念仏募金による支援NGO・NPO一覧

団体	プロジェクト名	援助額
① 日本国際ボランティアセンター(JVC)	南スーダン/スーダン国境近くでの紛争により影響を受ける子どもたちの支援と紛争解決に向けた住民の動きを促進する事業	¥500,000
② こども食堂「寺子屋カフェ」	ひとり親支援「シンママ熊本応援団」	¥500,000
③ 特定非営利活動法人クロスベイス	大阪市生野区における貧困および多文化家庭の子どもの伴走型学習支援事業	¥500,000
計		¥1,500,000

## 令和2年度予算書

(自: 令和2年4月1日 至: 令和3年3月31日)

### ■収入の部

款	項	令和2年度予算額	令和元年度予算額
(1)	会費	5,100,000	6,100,000
	①正会員会費	5,000,000	5,500,000
	②賛助会員会費	100,000	100,000
	③過年度会費	—	500,000
(2)	寄付金	2,500,000	2,500,000
	①平和念仏募金	2,500,000	2,500,000
(3)	助成金	1,450,000	950,000
	①浄土宗助成金	1,450,000	950,000
(4)	雑収入	30,000	30,000
	①雑収入	30,000	30,000
(5)	繰入金	1,000,000	500,000
	①基金繰入金	1,000,000	500,000
(6)	繰越金	1,742,724	87,849
	①前年度繰越金	1,742,724	87,849
	収入合計	11,822,724	10,167,849

### ■支出の部

款	項	令和2年度予算額	令和元年度予算額
(1)	事業費	7,950,000	6,010,000
	①NGO・NPO団体支援金	1,500,000	1,500,000
	②ブックギフト費	1,000,000	1,000,000
	③平和賞等関連費	550,000	550,000
	④啓発・普及費	500,000	500,000
	⑤広報費	2,500,000	2,000,000
	⑥支部事業助成費	250,000	200,000
	⑦各種団体連帯費	150,000	150,000
	⑧調査研究費	500,000	100,000
	⑨創立30周年記念大会費	1,000,000	0
(2)	会議費	2,160,000	2,060,000
	①総会費	160,000	160,000
	②理事会費	800,000	800,000
	③正副理事長会費	500,000	200,000
	④専門委員会費	600,000	500,000
	⑤事務局会費	100,000	400,000
(3)	事務費	1,100,000	1,100,000
	①事務費	1,000,000	1,000,000
	②旅費	100,000	100,000
(4)	繰出金	0	0
	①基金繰出	0	0
(5)	予備費	612,724	997,849
	①予備費	612,724	997,849
	支出合計	11,822,724	10,167,849

平和基金	17,241,254
平和基金	17,241,254

Support Report 新支援団体紹介

## NPO 法人クロスベイス

クロスベイスは「差別と貧困をなくしともに生きる社会をつくる」ことをビジョンに掲げ、2017年4月に大阪生野コリアタウン（御幸通商店街）内に事務所を開設し、活動を始めた。主な活動として、①国籍の違いや親の経済力などの家庭環境が子どもの教育格差につながらないように学習サポート教室を運営すること、②多様な人との出会いや学びを体験する場をつくるこ

と、③「差別と貧困」を許さない活力ある寛容な地域まちづくりに取り組んでいる。

浄平協では、今年度より支援を開始している。



## 多文化と貧困が交差するまちから

## ■岐路に立つ大阪市生野区

クロスベイスが活動拠点をおく大阪市生野区にある生野コリアタウン（御幸通商店街）は、年間200万人以上の来街者でにぎわう大阪でも有数の集客力を誇る商店街です。戦前の日本による朝鮮植民地支配とアジア侵略戦争により日本への渡航を余儀なくされた在日コリアンたちが、戦後に商店街の前面に進出することで発展してきました。植民地と侵略、冷戦と分断、差別と共生の幾重にも積み重なる歴史の狭間の中で生き抜いてきた商店街です。新型コロナ禍に伴う自粛宣言の終了後の週末には、早くも韓国の音楽・飲食などを求め、若い世代を中心に多くの来街者で商店街全体が揺れるほどです。

一方、いま生野区は超少子高齢化、子どもの貧困化、多国籍・多民族化への対応の遅れなどから、深刻な社会問題に直面しています。現在、生野区西部地域では12校ある公立小学校が4校に統合再編される計画が進められています。生野区の5軒に1軒以上が空き家という状況です。低所得家庭の子どもに支給される就学援助費の受給率は32%（2018年）に上り、全国平均の2倍以上にもなります。

また13万人の区民のうち、在日コリアンをはじめとする外国籍住民比率は20%を越え、全国の都市部の自治体で最も高い。世界60カ国以上の外国人が暮らす多国籍・多民族のまちに大きく変わろうとしています。生野区は全国でも際立った都市部の「課題先進エリア」と言えます。寛容で活力あふれるまちへと飛躍するか、ずるずると衰退の道をたどるのか、いま生野区はその岐路に立たされています。

## ■「未知なる自分」に出会う学習・体験活動

クロスベイスは、「差別と貧困をなくし、ともに生きる社会をつくる」ことをビジョンに掲げて、2017年4月に設立されました。多文化と貧困が複雑に交差する地域で生まれ育っている子どもたちが、自分では変えることができない理由で将来の人生の選択肢が狭まらないよう、①学習支援活動、②体験活動、③多文化共生のまちづくり、に取り組んでいます。

学習サポート教室は週3回、小学4年生から中学3年生までを対象に行われています。現在、日本・韓国・中国・ベトナムをはじめ8か国にルーツを持つ子どもたち約40名が毎週1回通うようになっています。不登校の子ども、スリランカの難民の子ども、在留資格が不安定であったフィリピンの子どもの子どもたちもいます。

体験活動は、原則月1回、「面白い」大人との出会いや普段できない体験の場づくりに取り組んでいます。厳しい家庭の子どもや親の行動範囲は驚くほど狭いか、偏っている場合が多いのです。子どもたちが「広い世界、異なる他者、未知なる自分」と出会う機会です。これまで延べ25回、517人が参加しました。あるときは大学進学を想定していない小中学生や保護者と一緒に、立命館大学へのキャンパスツアーも行いました。

不登校の子どもの感想シートには「大学がどのような場所かが分かった。自分を広げていくこと。人との関わりあいの中で自分を深めていくこと。自分で何かをしていくこと」と記されていました。子どもの感性と洞察力に、大人のほうが舌を巻くときも少なくありません。

こうした活動の場は、ある意味で未来の日本社会の縮図でもあります。公立中学校に通うサッカー好きなネパール人と快活な在日コリアンの子どもが、米国と

ドイツで暮らしてきた日本の大学生に数学を教わっています。中国とベトナムの中学生は、体験活動を通じて本当の姉妹のように仲が良くなりました。そこには、誰もがここにいいという心地よい空気感が流れています。

## ■大切にしている基本ルールと思い

クロスベイスには、講師とスタッフ全員が大切にすべき基本ルールがあります。最も大切なルールは、子どもたち自身が「自分のことは自分で決める」ことを最大限尊重することです。人権の原点です。2つめは、子どもが学び続ける力を信じることです。行く末を考えると、とても一筋縄ではいきません。予定調和的に進むことはまずありません。最後は「信じること」にしました。3つめは、自分を認め、相手を認め、相手から認められる場の雰囲気をつくることです。多文化共生のまちづくりとは、こうした空気感がまち全体に広がり、仕組みとして保障されていることかもしれません。

人は誰もが、自分がここにいる理由が欲しいものです。特に未来を生きる子どもたちは、自分がここにいなければならない決定的な理由を見つけられない難しい時代を生きています。AIの進化が加速する一方で、「教科書を読めない」（読解力のない）子どもたちが増えています。厳しい家庭環境の子どもたちに対して、「頑張れば報われる」などと無邪気な「自己責任論」を振りまく大人の発言ほど、不平等な社会構造を不問にした無責任なものはありません。自分自身と不条理な苦痛が横溢する現場が切り結ぶ場に根差しながら、大阪・生野の地でこれからも活動を積み重ねていきたいと思っています。

# 浄土宗平和協会(JPA)

国や信条を超え、「平和」という人類共通の理念のために、志を同じくする人々による連携をめざす継続的なネットワーク運動として、浄土宗平和協会は会員を募集しています。入会希望、問い合わせは下記事務局へ。

## 入会要項

浄土宗平和協会（JPA）の活動にあなたも参加しませんか？

### 正会員

対象……浄土宗教師・寺族  
会費……年間 10,000 円

### 賛助会員

対象……檀信徒、企業や宗教法人以外の団体  
会費……檀信徒会員年間 2,000 円  
法人会員年間 10,000 円（一口）

賛助会員は、応援に感謝を込めて、会報ダーナに芳名を掲載します。

ご希望の方には詳しい案内が掲載された協会のパンフレット（入会用振込用紙つき）を同封いたしておりますのでご利用ください。

## 平和念仏募金のご協力のお願い

平和念仏募金は、各NGOやNPO団体への援助、私費留学生に希望図書を贈呈するブック・ギフト活動、浄土宗平和賞などの活動に充てられます。

何とぞご協力賜りますようお願い申し上げます。

◆平和念仏募金は、平和・環境・福祉・人権などの諸問題に取り組むための募金に充てられます。

◆①世界の人々に役立つ、②共に学びあう、③社会にアピールする、④新たな人材を発掘・要請する—との方針のもと、NGOやNPOを支援しております。

◆私費留学生希望図書購入支援「ブック・ギフト」事業を行い、留学生の勉学支援をしています。

## JPA 浄土宗平和協会重点活動

- 1 平和念仏募金運動
- 2 ブック・ギフト事業
- 3 浄土宗平和賞
- 4 NGO・NPO支援

## 浄土宗平和協会役員・スタッフ

理事長……	廣瀬卓爾	大河内大博
副理事長……	深谷雅子	枝木美香
	山北光彦	参 与……
理 事……	東海林良昌	荻野順雄
	齋藤隆尚	川副春海
	小口秀孝	監 事……
	野上智徳	倉井正則
	山川正道	山下裕通
	本田行敬	事務局長……
	永江憲昭	事務局……
	永江憲昭	池野亮光
専門委員……	戸松義晴	小泉範幸
	大谷栄一	霜村真康
		田中堅信
		岩井正道



## 浄土宗平和協会

Jodo Shu Peace Association (JPA)

〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 浄土宗社会部  
TEL : 03-3436-3351 FAX : 03-3434-0744

連絡・問合せ先：浄土宗平和協会事務センター  
〒622-0003 京都府南丹市園部町新町火打谷5 教伝寺内

TEL : 0771-62-0442 FAX : 0771-62-1620

メール : info@jpa-jodo.or.jp

郵便振替口座【01020-5-16369 名義：浄土宗平和協会】